

平成 29 年度 あおいとり日野 生活介護 事業計画

- ・主たる事業所：あおいとり日野（平山） 日野市東平山三丁目 1 番 27
- ・従たる事業所：あおいとり日野（上田） 日野市上田 172 番 6
- ・出張所：パンの店あおいとり 日野市多摩平二丁目 1 番 1

○サービス事業 生活介護（*開所日数：243 日）

1、利用者定員（現員） 30 名（32 名：東平山（24 名）、上田（8 名））

障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	計
女性	0	0	0	4	5	4		13
男性	0	0	1	3	12	2	1	19
計	0	0	1	7	17	6	1	32

（平均区分：4.75）

*重度加算者：4 名（50 歳以上：1 名 行動関連項目該当者：3 名）

2、職員配置（利用者数:職員数） 2 : 1

3、事業開始年月日 平成 24 年 4 月 1 日

4、事業運営基本計画

(1) 区画整理に伴う新たな事業運営計画

イ、区画整理による東平山建屋の周辺道路状況を考慮し、その物理的な配慮として、障害特性、安全確保及びペース等を考慮して各班の拠点を東平山の建屋 2 階と上田に分け、上田を従たる事業所とする

(2) 基本計画

イ、利用者のライフステージ及び心身の状況を把握し、利用者に応じた適切な支援を提供する

ロ、日常生活や社会的体験を通して、利用者が ADL(日常生活動作：日常生活を営む為の基本動作)及び IADL(日常生活関連動作：日常生活を自立して過ごす為のより幅広い動作)を維持・向上・獲得できるよう支援する

ハ、生産活動の機会を提供し、生き生きとした姿や仕事ぶりを発揮できるように支援すると共に、安心して楽しく活動できる場を提供する

ニ、仲間との関係・職員との関係を通して、利用者には社会性や付き合い方が身につくように支援する

ホ、家族との連携を深め、利用者及び家族のニーズにあった個別支援計画を策定し、個々に応じた支援を行う

へ、「ケアホームあおとり」との連携を密に地域の中で継続的に安心して暮らすための支援を提供する

ト、東平山建屋の外壁及び屋上を修繕する

5、サービス内容

利用者一人ひとりの心身状況や行動特性などを考慮し、家庭と連携を図りつつ個々の応じた支援を行う

イ、介護（主に上田）

利用者の年齢や心身の状況に応じて、排泄及び食事などの日常生活に必要な介護を提供するのみでなく、日常生活動作（食事など日常的を営む上での基本動作）や日常関連動作（家事動作など日常生活を自立して過ごす為のより幅広い動作）の維持や向上のための支援する

○午前は集団のプログラム（動的・社会参加）を中心に活動し、午後は利用者の心身のコンディションを考慮しながらニーズに応じた個別化（ご本人に即した）プログラムを中心に展開する

○班分け及び班担当を定め家庭と連携を密にし、共通認識しやすいようにする

ロ、生産活動（主に東平山）

○働くこと・・・できる作業を提供する（できること、やれることを提供し、まとまった力が発揮できるように支援する）

○社会性、協調性の向上・・・仲間や職員との関係を活用しながら折り合える関係を構築する

○作業スケジュールを明確に提示し、分かりやすい配慮を入れる（日々のスケジュールボード、連絡帳、月間予定表等の活用）

○受託事業・パン事業で発生した利益を工賃として利用者に支払う

事業	作業内容
受託事業	①市の公園清掃、除草 ②福祉施設の屋外清掃、除草、清拭タオルの補充 ③資源献品回収 ④宅配すし（醤油、箸等袋詰め） ⑤庁内作業
パン事業	① 販売準備（はんこ押し、レジ袋の整え、チラシ作り） ② 外販売（定期販売<9 か所>、定期納品<2 か所>） ③ パン工房：計量、成型、整備、片付け、 ④ パンの店：包装（テープ止め）、袋入れ、注文品運搬、片付け、整備、パンの感謝で一、呼び込み ⑤ クッキー類 ⑥ ジャム製造 ⑦ ポスティング ⑧ ゆかり

ハ、余暇活動

楽しい経験の中で仲間関係を深めたり、過ぎしの充実を図ったりする目的で、個人の要望に応じたレクリエーション活動を提供する。特に体を動かすプログラムを多く取り入れる。また、利用者の興味関心に沿いながら心身の状況や行動特性などを考慮し創作的活動の機会も提供し、活動の発表の機会を設ける。

- 「音楽リハビリ」：心身のリフレッシュを図りながら集中力や仲間との協調性を引き出す
- 創作活動：個別のニーズに応じ、達成感を味わいながら自己表現を豊かにし、出張所やバザー等で展示する機会を作る（布加工品・革加工品・織物・工作）
- 「3B体操・リズム体操・散歩」：仲間と共に心身のリフレッシュを図り、楽しんで体を動かす機会を提供する
- 行事：旅行・バスハイクの負担を軽減し、多くの利用者の参加を促す

6、活動プログラム

イ、日中活動プログラム

時間	一日の流れ
9:00	受け入れ（身支度）・朝の体操 ・朝のミーティング
10:00	作業
11:45	昼食・休憩
13:45	作業
15:00	ティータイム・身支度・帰りのミーティング
16:00	帰宅

・時間割は各利用者のニーズに応じて柔軟に対応する

○東平山

	月	火	水	木	金
午前活動	外の作業を中心とした集団的活動（見本園・日野療護園・北口店呼び込みなど）				<ul style="list-style-type: none"> ・金曜プログラム（各行事・音楽リハビリ・3B体操・リズム体操など） ・パン販売 ・資源献品回収
		布製品 刺しゅう指導 クッキー 創作活動		クッキー	
	内作業	内作業	内作業	内作業	
	パン販売	パン販売	パン販売	パン販売	
午後活動	資源回収 ポスティング	調理準備 納品 資源献品回収	資源献品回収	チラシ印刷	

	内作業 個別プログラム	内作業 個別プログラム	内作業 個別プログラム	創作活動 内作業 個別プログラム	
--	----------------	----------------	----------------	------------------------	--

○上田

	月	火	水	木	金
午前活動	外の作業を中心とした集団的活動（見本園・散歩・ガーデニング・ポステイングなど）				・金曜プログラム （各行事・音楽リハビリ・3B体操・リズム体操など）
午後活動	資源回収 個別プログラム	刺しゅう指導 ポステイング 個別プログラム	資源回収 個別プログラム	ポステイング 個別プログラム	・資源献品回収

ロ、年間活動

月	年間行事	定期プログラム
4	入所式	<ul style="list-style-type: none"> ・パンランチの日（週1回） ・あおいとりランチ（調理プログラム 週2回） ・音楽リハビリ（年11回） ・3B体操（年11回） ・リズム体操（年10回） ・外食（行事が少ない月の金曜日） ・金曜散歩（月1～2回） ・刺しゅう指導（月2回） ・環境整備（年10回） ・防災訓練（年間6回） ・予防接種（年1回） ・嘱託医巡回（隔月1回）
5	バスハイク、健康診断	
6	健康診断	
8	夏休暇・宿泊旅行	
9		
10	運動会・青い鳥バザー	
12	クリスマス会 冬休暇	
3	福祉のつどい 納会	

・詳細は年間予定表

7、健康衛生管理

イ、利用者の健康状態に気を配りながら、生活習慣病や肥満の予防対策等留意する

○健康の日（嘱託医による巡回相談の事前のミーティング）

○嘱託医による巡回相談（隔月1回）、体重測定

○健康診断、保健師による口腔ケア指導（年1回）

○健康的な食事を提供する

○歯磨き指導（歯磨きチェック）

ロ、衛生管理

○施設内外整理整頓、清掃、消毒等の衛生管理に努めマニュアルを活用する

○食前及び作業前後における消毒石鹸による手洗いやうがいの励行

○タオル等の共有は避ける

○食品を扱う利用者及び職員は法廷義務を守る。保健所等の研修を受講する

8、家族との連携

イ、共通認識に立って進められるように連携を密にして進める

○家族会

○個別面談

○担当制の活用

○連絡帳及び配布物の活用

9、親の会との連携

イ、親のニーズや情報を把握し地域に根ざした継続的な支援を展開する

○共催バザー及び親の会総会、親の会役員会、勉強会等諸会議への参画

10、地域との連携

イ、地域とのつながり及び社会貢献の側面を意識してネットワーク作りを進める

○ボランティアの受け入れ（心得の作成）

○奉仕活動（赤い羽募金、歳末助け合い募金）、地域のイベントに積極的に参加する

○地域の関係機関との会議やイベントへの参画に努める

○施設公開し地域との親睦を図り信頼を高める

○余暇活動及び行事に地域資源を活用する

11、職員研修（平成 29 年度研修計画作成）

イ、職員研修計画に基づいて施設の適正な運営を図り、職員の資質向上のため系統的で効果的な研修を実施する

○施設内部研修

・その時のニーズをテーマにした研修を実施する

・週 1 回ケーススタディーを開催する

○施設外研修（各職員の意向に応じた研修及びキャリアパスに沿った研修）

○資格習得のための情報や時間を提供する

（主の研修先：日野市が開催する施設職員研修、東京都福祉人材センター、東京都社会福祉協議会、日本知的障害者福祉協会）

12、防災・防犯

イ、防災防犯訓練を実施する。（予定回数 6 回） 実現に向けて年間計画を作成し、毎月の職員会議の定番の議案に掲げる。

ロ、防災防犯会議(管理者会議の議題に盛り込む)をケホームと連携して進める

(あおいとり防災マニュアルの更新、防災用品、備品、備蓄等を整える)

○理事施設長、あおいとり日野管理者、ケアホーム青い鳥管理者、事務長で討議する

13、諸会議

イ、管理者会議（月1回、必要に応じて随時開催）

○理事施設長、あおいとり日野管理者、ケアホーム青い鳥管理者、事務長が施設運営や支援の方針など事前に協議しケアホームとの連携を図る

ロ、主任会議

○あおいとり日野管理者、主任が現場運営や支援等について報告、協議し、上位会議である管理者会議に提案する

ハ、合同職員会議

○職員全体で施設運営全般について協議する

○利用者支援全体及び、重要なケースについて協議し適正化・統一を図る

○内部研修に活用する

ニ、朝の全体連絡会

○当日の利用者及び利用の有無、シフトを確認

○当日の支援、活動内容の確認し共通認識に立つ

○当日の運営、管理事項を確認する

○会議録を作成し各部署に周知する

ホ、振り返り会議

○当日の利用者及び活動状況確認

○翌日の利用者及び職員の予定を確認する

○ヒヤリっハッと報告及び対応策を周知する

ヘ、サービス支援会議（アセスメント、モニタリング、まとめ）

○多面的なアセスメントから個別支援計画を作成し、実施したサービスを検証して利用者満足に繋げる。アセスメント、モニタリング、まとめは年間予定に組み入れて計画的、具体的に進められるシステムをつくる

ト、リスクマネジメント会議

○毎月のヒヤリっハッと報告や事故報告をまとめて分析及び対応策の再確認し共通認識を図る

14、第三者評価

イ、第三者評価を平成29年度に実施予定

15、社会貢献

イ、生活困窮者に社会復帰の場を提供する

○リサイクル品の活用（災害時等の無償提供）

ロ、生活困窮者（生活保護を受給している利用者）にたいしての行事参加費の減免

16、資金計画

イ、通常の運営経費は訓練等給付費収入でまかなう